

「びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会」 中間とりまとめに関する意見提案状況とそれらに対する考え方

標記中間取りまとめについて、意見募集を行った結果、8人(団体)の方から29件の意見が提出されました。

提出された意見を取りまとめ、項目ごとに整理した25件について、考え方を示しました。なお、取りまとめの便宜上、提出された意見は適宜要約したものとなっています。

また、その他の4件の意見については、考え方を示していませんが、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見募集期間 平成24年3月21日～4月20日

提出された意見の概要

1 意見提案者数(団体含む)	8人・団体
2 提出された意見の概要	
全般	2件
「7.びわこ文化公園都市の将来像と方向性」関係	
・「将来像(1)」関係	5件
・「将来像(2)」関係	2件
・「将来像(3)」関係	5件
・「将来像(4)」関係	2件
・「将来像(5)」関係	7件
・「5つの将来像の実現を支える取組」関係	2件
<hr/> 回答対象意見計	25件
<hr/> 参考とさせていただく意見	4件
<hr/> 提案のあった意見総数	29件

「びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会」中間取りまとめに対して
提出された意見とそれらに対する考え方

番号	頁	項目	意見の内容	意見に対する考え方
1		全般	財政難などから、福祉・教育・文化ゾーンとしての目的を達成していない。改めて、社会的変化を踏まえた次代への施設ビジョンと各施設の良さを融合させた新たな「びわこ文化公園都市」として新たな価値の創造を図ったビジョンを示すべき。 例えば、森林セラピーや心の癒しを回復する健康づくりの拠点になればよい。	びわこ文化公園都市が持つ強み、課題、取り巻く社会状況等を勘案し、これまで整備してきた施設・機関が相互に機能を高め合う「機能連携」に主眼をシフトし、まちの熟成を図っていくこととしています。そうしたことから、課題の解決を図りながら、強みを活かしていく目指すべき5つの将来像を設定しています。
2		全般	人と人との交流、国内外からの来訪者が気持ちよく滞在できる施設や交通体系などハード、ソフトの環境づくりに取り組む設計図を示してはどうか。 この周辺地域は、主要な道路が通過する交通の要衝であるが、渋滞地域であり、資源が生かされていない。最寄りのJR瀬田駅には新快速が止まらず、国際基準のアイスアリーナも孤立化している。交通体系がマッチしていない。	将来像(1)の<取組の方向性>では、「多様な資源を活かした魅力あるツーリズムなど新たな取組の検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。
3	17	将来像(1) 県内外の人々が交流する場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・びわこ文化公園都市周辺道路の整備。新エネルギー利用の周回バスの活用。	将来像(1)の<取組の方向性>では、中長期の取組として「地域内外のアクセス性の向上に向けた取組の検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。
4	19	将来像(1) 県内外の人々が交流する場	(機能連係をより強く推進するためには、横串的・事業的発想に基づく連携が有効と考え、次の具体的な事業に基づく機能連係を提案する。) 「医療観光」を推進するプロジェクトチームにより、外国人患者などのニーズに合致した受入環境づくりを検討するなど、医療と連携した観光の新しい可能性の創出	将来像(1)の<取組の方向性>では、「多様な資源を活かした魅力あるツーリズムなど新たな取組の検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。
5	17	将来像(1) 県内外の人々が交流する場	いのちと心が触れ合う、福祉の街をつくる福祉ゾーンの再開発(障害関連施設、大学、地域住民との触れ合いゾーンの設置) 駐車場の整備	将来像(1)の<取組の方向性>では、「県民や利用者にとっての安全性、快適性の向上に向けた取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。
6	17	将来像(1) 県内外の人々が交流する場	京阪電気鉄道石山坂本線の石山寺駅から延長して瀬田川を渡り、希望が丘文化公園野洲口またはJR篠原駅付近までの京阪湖南山手線を構築してはどうか。	将来像(1)の中長期の<取組の方向性>では、「地域内外のアクセス性の向上に向けた取組の検討」を掲げているところです。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。
7	17	将来像(1) 県内外の人々が交流する場	5. びわこ文化公園都市の強みと課題(2)課題2) バリアフリーや安全性の課題 「わんぱく原っぱ」は小石が多く子どもにとっては危険。芝草の整備といった広場の整備を強化していただきたい。	将来像(1)の<取組の方向性>では、「県民や利用者にとっての安全性、快適性の向上に向けた取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。
8	18	将来像(2) 文化・芸術を創造する場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・現在の子ども工作、理科離れに対応するため、図書館や美術館、公園管理事務所の会議室で、龍谷大学や立命館大学の学生に教室を開設	将来像(2)の<取組の方向性>では、「文化関係施設と各施設の連携による子どもや若者の学びや成長を育む取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。
9	18	将来像(2) 文化・芸術を創造する場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・レイカディアエリアの会議室を文化芸術団体の練習場として活用	将来像(2)の<取組の方向性>では、「文化関係施設と各施設の連携による子どもや若者の学びや成長を育む取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体の検討課題とします。

番号	頁	項目	意見の内容	意見に対する考え方
10	19	将来像(3) 未来成長へ 挑戦する場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・びわこ文化公園都市の各施設は太陽光発電等の新エネルギーで電力を賄うよう改善	将来像(3)の中長期の「取組の方向性」では、「各施設等における新エネルギーの取組促進に向けた検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
11	19	将来像(3) 未来成長へ 挑戦する場	(機能連係をより強く推進するためには、横串的・事業的発想に基づく連携が有効と考え、次の具体的な事業に基づく機能連係を提案する。) 未処理下水道熱の利用など、エネルギーの地産地消	将来像(3)の「取組の方向性」では、「各施設等における新エネルギーの取組促進に向けた検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
12	19	将来像(3) 未来成長へ 挑戦する場	(機能連係をより強く推進するためには、横串的・事業的発想に基づく連携が有効と考え、次の具体的な事業に基づく機能連係を提案する。) 里山の間伐材なども活用する「地域資源を用いた持続的な防災」といった観点から、低炭素・循環型の都市モデル形成	将来像(3)の「取組の方向性」では、「各施設等における新エネルギーの取組促進に向けた検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
13	19	将来像(3) 未来成長へ 挑戦する場	いのちと心が触れ合う、福祉の街をつくる福祉ゾーンの再開発(障害関連施設、大学、地域住民との触れ合いゾーンの設置) 自然エネルギーの共同利用:福祉ゾーン施設群の広大な屋根を利用した太陽光発電。	将来像(3)の「取組の方向性」では、「各施設等における新エネルギーの取組促進に向けた検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
14	19	将来像(3) 未来成長へ 挑戦する場	いのちと心が触れ合う、福祉の街をつくる福祉ゾーンの再開発(障害関連施設、大学、地域住民との触れ合いゾーンの設置) 福祉用具の開発販売など、大学福祉施設提携での共同開発	将来像(3)の「取組の方向性」では、「各大学等の研究シーズと事業者等のニーズとの接続を促進する取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
15	20	将来像(4) 歴史と暮らし を紡ぐ場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・国史跡源内峠遺跡・源内道・木瓜原遺跡等歴史資源の保存と観光活用。	将来像(4)として、「脈々と守り育てられてきた豊かな緑や歴史遺産と地域の誇りを次世代に引き継ぐエリア」を描いています。 また、「取組の方向性」では、「歴史資源、樹林地の保存、活用の促進に向けた取組の実施」を掲げています。
16	20	将来像(4) 歴史と暮らし を紡ぐ場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・この丘陵地は江戸時代はマツタケの宝庫であった。地元ボランティアグループとの森の復活活動の取組	将来像(4)として、「脈々と守り育てられてきた豊かな緑や歴史遺産と地域の誇りを次世代に引き継ぐエリア」を描いています。 また、「取組の方向性」では、「県民、NPO等が参画する、施設や樹林地の維持・運営に向けた取組の実施」を掲げています。
17	21	将来像(5) いのちと健康 を支える場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・アイスアリーナを中心とし、野球場・テニスコート・サッカー場・グランドゴルフ場等を集中させた体育エリア	将来像(5)として、「豊かな自然環境に抱かれた癒しとやすらぎを五感で感じる健康・スポーツケアエリア」を描いています。
18	21	将来像(5) いのちと健康 を支える場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・ウォーキング治療の創設。地元民と医師と患者が協働でびわこ文化公園都市ウォーキング周回道を歩き治療する。	将来像(5)として、「豊かな自然環境に抱かれた癒しとやすらぎを五感で感じる健康・スポーツケアエリア」を描いています。 また、「取組の方向性」では、短期的には「健康・スポーツ、医療・福祉エリアとしての安全性、快適性の向上と利活用促進に向けた取組の実施」を、中長期的には「自然環境や医療・福祉施設等の集積を活かした心身の健康維持・増進の促進に向けた検討」を掲げています。
19	21	将来像(5) いのちと健康 を支える場	「びわこ文化公園都市に来てしか見られないものや体験できない、治療できない」ことを目標にわかりやすくエリアを定めるべき。 例えば、 ・災害対策として、地下水の利用と避難所施設としての機能を整備	将来像(5)の「取組の方向性」では、短期的には「災害時における施設間連携や体制づくり等の促進に向けた取組の実施」を、また中長期的には「災害時における救援、救護、支援等に関するさらなる機能の検討」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。

番号	頁	項目	意見の内容	意見に対する考え方
20	21	将来像(5)いのちと健康を支える場	いのちと心が触れ合う、福祉の街をつくる福祉ゾーンの再開発(障害関連施設、大学、地域住民との触れ合いゾーンの設置) 福祉ゾーンに交流スペースを造る :総合案内窓口や障害のある方が作った商品の販売、福祉用具等の販売、レストラン、コンサート会場、お祭り広場、公園、散歩道、遊具の設置等	将来像(1)の<取組の方向性>では、「県民や利用者にとっての安全性、快適性の向上に向けた取組の実施」を、また将来像(5)の<取組の方向性>では、「健康・スポーツ、医療・福祉エリアとしての安全性、快適性の向上と利活用促進に向けた取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
21	21	将来像(5)いのちと健康を支える場	文化ゾーンをもう少し広げ、県民が簡単にスポーツを楽しめる広場にしてはどうか。 例えばフライングディスクは龍谷大学や立命館大学にもチームがあり、誰でも楽しめるスポーツ。びわこ文化公園都市に練習が出来る環境を整えてはどうか。	将来像(5)の<取組の方向性>では、「健康・スポーツ、医療・福祉エリアとしての安全性、快適性の向上と利活用促進に向けた取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
22	21	将来像(5)いのちと健康を支える場	7.びわこ文化公園都市の将来像と方向性(5)いのちと健康を支える場 「わんぱく原っぱ」の利活用促進として、定期的に大学生が利用することにより安全性・利用頻度が向上する。	将来像(5)の<取組の方向性>では、「健康・スポーツ、医療・福祉エリアとしての安全性、快適性の向上と利活用促進に向けた取組の実施」を掲げています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
23	21	将来像(5)いのちと健康を支える場	7.びわこ文化公園都市の将来像と方向性(5)いのちと健康を支える場 <取組例>からは、短期および中長期の課題解決につながるように思えない。隣接する龍谷大学との連携を強化していただきたい。	<取組例>は例示であり、大学を含め関係する施設・機関の機能関係を主眼にビジョンを取りまとめているところです。
24	22	5つの将来像の実現を支える取組	将来ビジョンは、地域経済の振興やまちづくりにつながるべき。そのためには、行政や関係機関に加え、地域の方々が参画した主体的な取組が必要。中長期的な推進にあたっては「地域発」という視点を明確にすべき。	「9.将来像の実現に向けて」では、「その実現に向けては、…周辺地域の住民を始めとした県民、利用者…幅広い主体が関わり…これらの取組を通して、びわこ文化公園都市のまちとしての熟成を図っていくべきである。」としています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。
25	22	5つの将来像の実現を支える取組	将来像実現のための会議には、地元で活動しているメンバーが参画するべき。	「9.将来像の実現に向けて」では、「その実現に向けては、…周辺地域の住民を始めとした県民、利用者…幅広い主体が関わり…これらの取組を通して、びわこ文化公園都市のまちとしての熟成を図っていくべきである。」としています。いただいたご意見は、今後の具体的な検討課題とします。